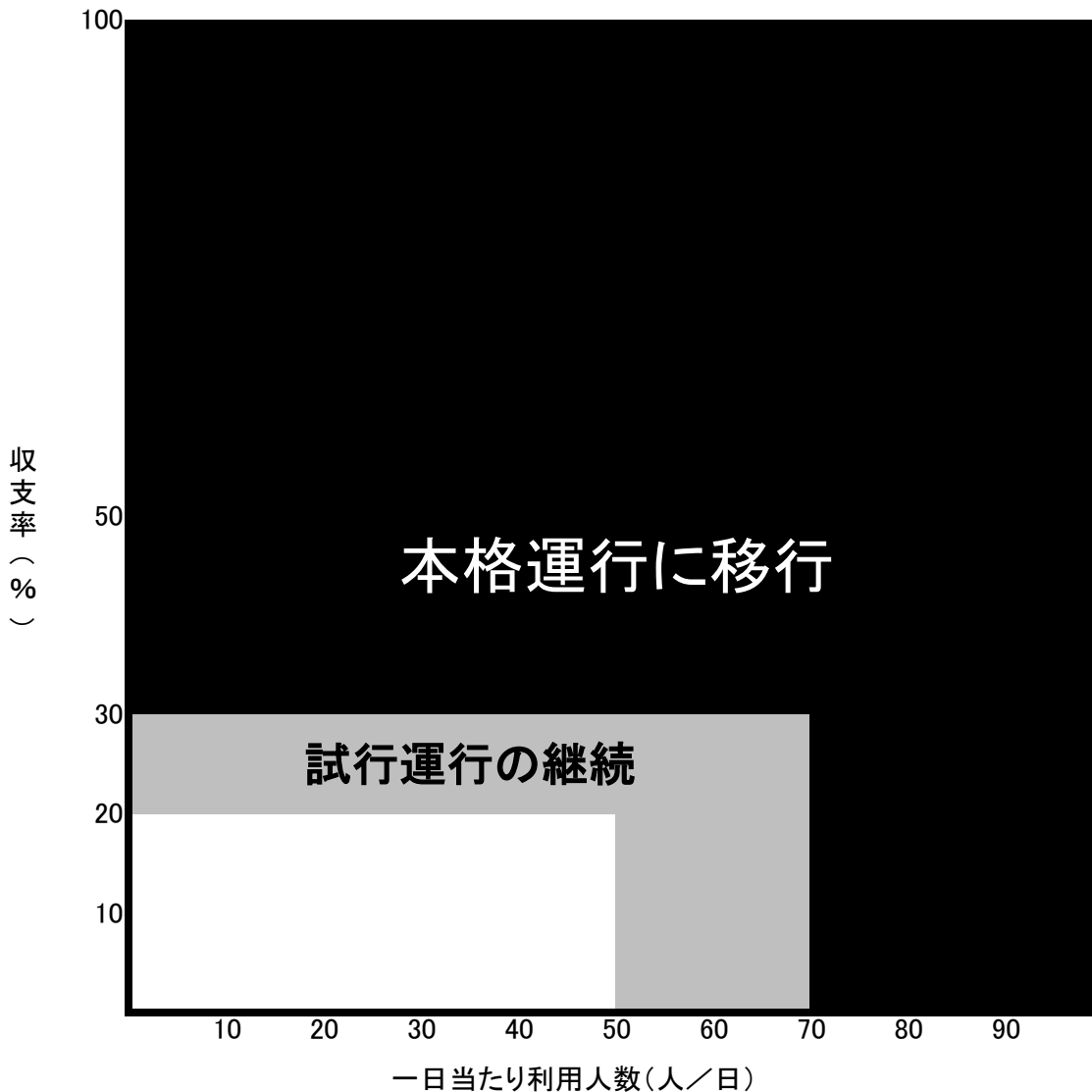


## 国立市コミュニティワゴン試行運行 評価基準・目標値(再掲)



★現在は一日22便運行されている。それぞれ、矢川駅から青柳方面に2人、青柳方面から矢川駅方面に2人利用すれば、一日あたり88人の利用が見込まれる(運行当初の青柳ルートは一日13便で各方面に3人ずつの利用を仮定し70人/日という数字を算出していた)。

★平成28年度の青柳ルートの客単価はおよそ120円だったので、一日あたり88人の利用があれば、収入が327万3600円となり収支率が30%を超える可能性がでてくる。

★このほか、財政投入額についての基準も存在する(550万以下で本格運行、900万以下で試行運行の継続)。平成29年度の補助額(見込)は894万3000円である。

・上記の評価基準・目標値は平成26年8月28日開催、国立市地域公共交通会議で合意したものである。

・参考までに、平成28年度のくにっこバスは収支率57%、一日当たり約760人。